

自然災害に備えよう！～自然災害への備えも適応策の一つです～

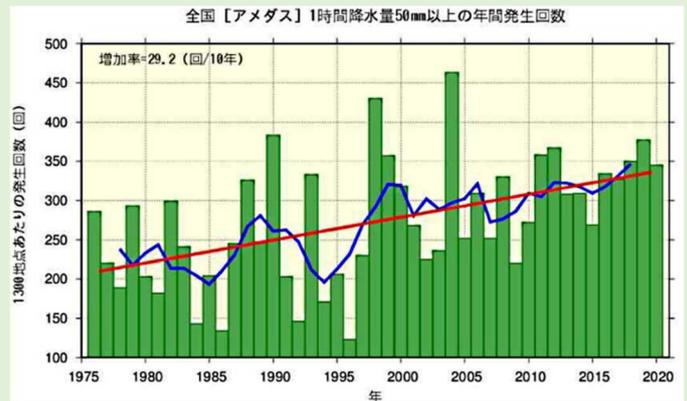
自然災害と気候変動

気候変動が自然災害・沿岸域に及ぼす影響として、短時間強雨や大雨の強度・頻度の増加による河川の洪水、土砂災害、台風の強度の増加による高潮災害等が懸念されています。

近年、異常気象が頻発化しており、全国各地で豪雨災害等の被害をもたらしていますが、このような災害をもたらす大雨・短時間強雨の頻発化の背景には、自然変動の影響による異常気象に加え、地球温暖化の影響があると考えられています。

四国地方において短時間に降る非常に激しい雨(1時間降水量50mm以上)の回数は統計的に有意な変化傾向は確認できませんが、21世紀末には、20世紀末と比べ回数が増加することが予測されています。

また、比較的災害の発生が少ない地域と言われている本県でも、ひとたび大雨に見舞われると大規模な水害や土砂災害が発生する危険性があり、平成16年には、あいつぐ台風により、19名の方が犠牲になっています。



全国【アメダス】1時間降水量50mm以上の年間発生回数
出典)香川県の気候変動「日本の気候変動2020」(文部科学省・気象庁)に基づく地域の観測・予測情報1ープレート(発行/高松地方気象台)



平成16年の台風23号により被害を受けた川(左:本津川、右:津田川)の様子(出典)小学生用防災教育副読本「風水害に備えよう」(発行/香川県危機管理総局危機管理課)

防災情報の入手

○ かがわ防災 Web ポータル

かがわ防災 Web ポータルは、香川県が運営している防災情報のサイトです。ハザードマップや気象警報・注意報などの情報を見ることができます。



アクセスはこちらから！



○ 香川県防災ナビ

香川県防災ナビは、スマートフォンの持つ位置情報を利用して、避難行動を支援するアプリです。

【主な機能】

- ① 危険なエリアにいる利用者へのフィッシュ通知機能
- ② ハザードマップ・避難所の地図表示機能
- ③ 最寄りの避難所・避難場所へのルート検索機能
- ④ 家族等の安否確認機能

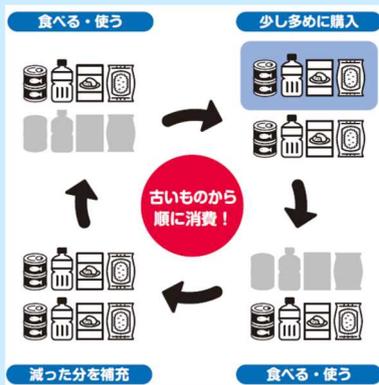
ダウンロードはこちらから！



災害に備えての準備

○ 食料、飲料水、日用品などの備蓄

大きな災害のとき、支援物資がすぐに届かないこともあります。最低3日分(できれば1週間分)、自分や家族が生活できる備えをしておく安心です。取り組みやすい備蓄の方法としては、缶詰やレトルト食品、トイレトーパーなど日常生活で消費するものを少し多めに買い置きして賞味期限が近づいたものは食べて、食べた分をまた補充するローリングストックというやり方があります。



○ ハザードマップの確認

ハザードマップとは災害の時に危険な場所や避難場所を色や記号で表した地図のことです。あらかじめ、危険な場所や安全な場所を知っておけば、すばやく避難することができます。

